

令和3年度「春の里山で身近な生き物を探そう！」

日時 令和4年3月19日（土） 午前9時00分から

行程 東三河ふるさと公園（御油側）集合 → 灰野峠 → 八柱神社（御津町金野）
→ 灰野峠 → 東三河ふるさと公園（御油側）解散

当日の様子

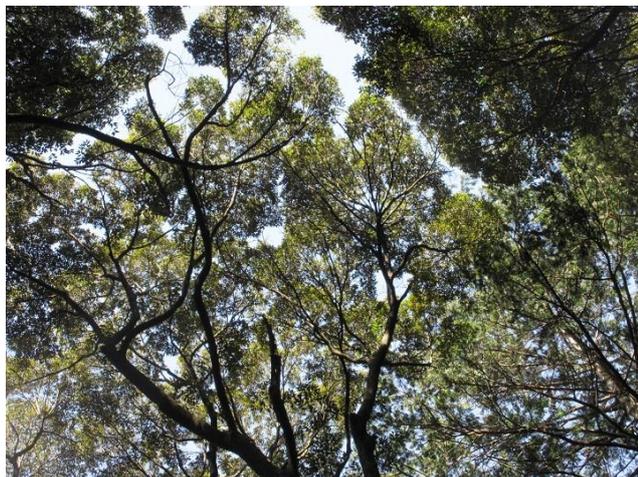


今回の「里山で身近な生き物を探そう！」は東三河ふるさと公園周辺で開催されました。

当日は14人が参加して、東三河自然観察会の天野保幸さんと里山に生息する昆虫や植物などを観察しました。集合場所となった東三河ふるさと公園の御油側駐車場を出発すると、県道豊川蒲郡線を灰野峠へ向かって歩きました。

御油側の山道では地面に落ちているスギとヒノキの葉や枝、実の形の違いなどを観察しました。峠に到着すると生い茂るシイノキを下から見上げ、風で揺れる枝葉が隣の枝と接触せずに動いている様子を眺めました。市内の山ではシイノキのほか、ヤブツバキなど照葉樹林を代表する樹木がよく生育していることを先生が教えてくれました。

また、峠を超えた先の御津町金野地区では、コオニタビラコ（ホトケノザ）やセリなど春の七草に数えられる植物のほか、ジロボウエンゴサクやタチツボスミレなどの花を観察することができました。



↑ 灰野峠付近のシイノキを見上げる



↑ 風に揺らめくシイノキの枝葉を観察



↑コオニタビラコ (春の七草：ホトケノザ)



↑スカシダワラ (クスサンの菌)



↑ヒメカンスゲ



↑ジロボウエンゴサク

観察した主な植物等

アカガシ、アカマツ、アセビ、アベマキ、アリドオシ、ウラジロ、オニタビラコ、オオバヤシャブシ、カンツバキ、カンヒザクラ、キツネノボタン、キラソウ、クリ、コオニタビラコ、コ克蘭、コスミレ、コナラ、シイノキ、シキミ、ショウジョウバカマ、ジロボウエンゴサク、スギ、スズメノヤリ、セリ、タチツボスミレ、ツクシ、ツルアリドオシ、ニホンタンポポ、ハコベラ、ヒノキ、ヒメカンスゲ、ヒメウス、フジ、ベニシダ、ホトケノザ、ミツバ、ミミナグサ、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、ヨモギ、レンゲ 他

観察した主な動物

サワガニ、スカシダワラ (クスサンの菌)、テングチョウ、ハラビロカマキリの卵のう、ピロウドツリアブ 他

参加者の声 (参加者アンケートより抜粋)

- ・子供に自然を教えるのにとっても良かった。
- ・知らない事が多いので、すごく勉強になりました。
- ・豊川市にも、今まで知らなかったいろいろな自然があることを知り、楽しかった。

などのご意見をいただきました。